

愛媛大学防災リーダークラブ



他大学の学生と活動の輪を広げていきたいと語る武田さん

武田 悠希さん (愛媛大学法文学部1回生)

「どんな活動をしていますか」
防災シンポジウムや消防の出初式といった地域の防災活動に参加しながら、防災についてさまざまな知識や経験を積んでいるところ。今後、組織として地域の防災活動に積極的に参加していく予定です。

「活動に参加したきっかけは」
他大学の学生と活動の輪を広げていきたいと語る武田さん

南海トラフ地震の発生が危惧される中で自分もいつ被災するかわからないと考えていたとき、防災リーダークラブの案内を目にし、参加を決意しました。

高年齢化に歯止めがかからない中で防災を担う若い力が減少していきかねるが、活動を通して学んだ知識・経験を生かして地域でリーダーシップを発揮していきたいです。

来年度以降は他大学の学生も活動に参加するので、さらに活動の輪を広げたいです。

「防災リーダークラブ」とは
防災士の資格を取得した大学生を「学生防災リーダー」に任命し、平成27年10月に発足。地区防災計画の作成支援、防災訓練を通じた地域の防災活動への参加、企業への防災支援、市が開催する防災関連行事への共同参加など、さまざまな防災活動に参加し、防災スキルを高めることで、地域防災のけん引役として期待される。

松山市を さらに防災意識の 高いまちに

松山市には全国の自治体で一番多く防災士がいます。防災の取り組みを知らない人もまだまだたくさんいると思います。自分たちが

「防災リーダークラブ」とは
防災士の資格を取得した大学生を「学生防災リーダー」に任命し、平成27年10月に発足。地区防災計画の作成支援、防災訓練を通じた地域の防災活動への参加、企業への防災支援、市が開催する防災関連行事への共同参加など、さまざまな防災活動に参加し、防災スキルを高めることで、地域防災のけん引役として期待される。

若い世代の地域での活躍の場を創出し、「防災ひとづくり」による地域創生を目的としている。

活動を通して学んだことをどのように生かしていきたいですか
人命救助や応急処置の方法などは普段なかなか学ぶ機会がないので、活動を通して

松山のどんなところが好きですか
もともと歴史や文学に興味があったので、博物館や資料館がまち中にあり、気軽に触れることができるところが好きです。また自転車で観光地を巡ることができると、市外の人にとっても便利かなと思います。

松山市には全国の自治体で一番多く防災士がいます。防災の取り組みを知らない人もまだまだたくさんいると思います。自分たちが

若い世代の地域での活躍の場を創出し、「防災ひとづくり」による地域創生を目的としている。

インタビュー 特集

将来のために、私たちができること

まちの持続的な発展のためには若い世代の力が不可欠。今回、防災や選挙の分野で市政に関わる大学生と高校生に話を聞きました。

選挙コンシェルジュ

山中 真由さん (松山東高等学校1年)



同世代への呼び掛けに自分も参加したいと語る山中さん

「どんな活動をしていますか」
選挙権が18歳以上に拡大されることから、高校生をターゲットにした選挙啓発を担当しています。学校で放送部に入っていることもあり、市内の高校向け校内放送の内容作成を中心に取り組んでいます。

「活動に参加したきっかけは」
選挙権が18歳以上に拡大されることから、高校生をターゲットにした選挙啓発を担当しています。学校で放送部に入っていることもあり、市内の高校向け校内放送の内容作成を中心に取り組んでいます。

「活動を通して学んだことをどのように生かしていきたいですか」
選挙コンシェルジュの活動では年上の人と協議する機会も多く、広い視野で物

「選挙をより身近に感じられる社会を目指して」
松山は「人と人とのつながり」や「やさしさ」にあふれたまちだと思います。例えば、困っている人を見るとすぐに「気付け」「助ける」という精神が根付いていて、住み心地がいいまちだと実感しています。

「選挙コンシェルジュ」とは
平成26年2月、若年層を中心に低下する投票率を改善するため、全国で初めて大学生を選挙コンシェルジュに認定。市選挙管理委員会との企画会議などを通して、選挙に関する知識と企画力を習得し、選挙CMの制作や街頭啓発、出前講座などを行っている。1期生に4人、2期生に5人、3期生に高校生を含む25人を認定し、現在は総勢29人で選挙啓発活動を展開中。

「選挙コンシェルジュ」とは
平成26年2月、若年層を中心に低下する投票率を改善するため、全国で初めて大学生を選挙コンシェルジュに認定。市選挙管理委員会との企画会議などを通して、選挙に関する知識と企画力を習得し、選挙CMの制作や街頭啓発、出前講座などを行っている。1期生に4人、2期生に5人、3期生に高校生を含む25人を認定し、現在は総勢29人で選挙啓発活動を展開中。

大きく2つあります。1つは在籍している松山東高校放送部が「選挙クルー」に認定されたこと。2つ目は、スーパーグローバルハイスクール（高等学校などが国際機関などと連携し、グローバルな課題について総合的な学習を行う活動）で世界に目を向けるようになり、海外では18歳以上に選挙権がある場合がほとんどであることを知りました。そんなとき、日本でも選挙年齢が引き下げられ、同世代への呼び掛けに自分も加わりたいと思い参加しました。

「選挙をより身近に感じられる社会を目指して」
松山は「人と人とのつながり」や「やさしさ」にあふれたまちだと思います。例えば、困っている人を見るとすぐに「気付け」「助ける」という精神が根付いていて、住み心地がいいまちだと実感しています。

「選挙コンシェルジュ」とは
平成26年2月、若年層を中心に低下する投票率を改善するため、全国で初めて大学生を選挙コンシェルジュに認定。市選挙管理委員会との企画会議などを通して、選挙に関する知識と企画力を習得し、選挙CMの制作や街頭啓発、出前講座などを行っている。1期生に4人、2期生に5人、3期生に高校生を含む25人を認定し、現在は総勢29人で選挙啓発活動を展開中。

「選挙コンシェルジュ」とは
平成26年2月、若年層を中心に低下する投票率を改善するため、全国で初めて大学生を選挙コンシェルジュに認定。市選挙管理委員会との企画会議などを通して、選挙に関する知識と企画力を習得し、選挙CMの制作や街頭啓発、出前講座などを行っている。1期生に4人、2期生に5人、3期生に高校生を含む25人を認定し、現在は総勢29人で選挙啓発活動を展開中。

「選挙コンシェルジュ」とは
平成26年2月、若年層を中心に低下する投票率を改善するため、全国で初めて大学生を選挙コンシェルジュに認定。市選挙管理委員会との企画会議などを通して、選挙に関する知識と企画力を習得し、選挙CMの制作や街頭啓発、出前講座などを行っている。1期生に4人、2期生に5人、3期生に高校生を含む25人を認定し、現在は総勢29人で選挙啓発活動を展開中。



愛媛大学防災リーダークラブ結成式

「防災リーダークラブ」とは
防災士の資格を取得した大学生を「学生防災リーダー」に任命し、平成27年10月に発足。地区防災計画の作成支援、防災訓練を通じた地域の防災活動への参加、企業への防災支援、市が開催する防災関連行事への共同参加など、さまざまな防災活動に参加し、防災スキルを高めることで、地域防災のけん引役として期待される。